



「SDGsアクションプラン2021」(重点事項)

現時点の一案
円卓会議関係者限り

- 新型コロナウイルス感染症拡大は、世界の人々の命・生活・尊厳、すなわち人間の安全保障に対する危機。**「誰一人取り残さない」との考え方を指導理念として臨む必要がある、SDGsはコロナ対策の重要な指針。**
- 『SDGsアクションプラン2021』では、**コロナ禍からの「よりよい」復興**を遂げ、**SDGsが達成された、しなやかで強靱な、環境と成長の好循環のある「新たな日常」を実現**すべく、2021年に実施する政府の具体的な取組を盛り込んだ。重点事項は以下のとおり。
- コロナ禍によりSDGsの達成が遅れないよう、国内実施・国際協力を加速化するとともに、国際社会に日本の取組を共有・展開していく。また、SDGs達成にはあらゆる関係者による行動が不可欠なところ、広報・啓発にも引き続き取り組む。

I. 感染症対策と次なる危機への備え

- ▶ 診断・治療薬・ワクチンの開発・製造・普及を包括的に支援することによる、これらへの公平なアクセスの確保。国民の命を守るための体制確保。
- ▶ **ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ (UHC)** 達成に向けた取組の推進を通じた強靱かつ包摂的な保健システムの構築、感染症に強い環境整備。
- ▶ 栄養、水、衛生等、分野横断的取組の推進。**東京栄養サミット**等の機会を活用した食育や栄養政策の推進。

II. よりよい復興に向けたビジネスとイノベーションを通じた成長戦略

- ▶ **デジタルトランスフォーメーションの推進**や**科学技術イノベーション (STI)** の活用、**Society5.0**の推進を通じてSDGsの達成を促進。
- ▶ **ESG投資の推進**も通じ、企業経営へのSDGs取り込みを促進すると共に、テレワークなどの働き方改革を通じて**ディーセントワーク**の実現を促進。
- ▶ **バイオ戦略**や**スマート農林水産業**の促進などを通じ、持続可能な循環型社会を推進。

III. SDGsを原動力とした地方創生、環境に優しく強靱なまちづくり

- ▶ **2050年カーボンニュートラル**への挑戦も通じ、経済と環境の好循環を生み出すと共に、**防災・減災**、**国土強靱化**、質の高いインフラの推進を継続。
- ▶ **「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」**実現に向けた海洋プラスチックごみ対策など廃棄物管理の強化。
- ▶ **SDGs未来都市**、**地方創生SDGs官民連携プラットフォーム**、**地方創生SDGs金融**等を通じ、SDGsを原動力とした地方創生。

IV. 一人ひとりの可能性の発揮と絆の強化を通じた行動の加速

- ▶ あらゆる分野における**女性の活躍推進**。**ダイバーシティ**、**バリアフリー**の推進。
- ▶ **子供の貧困対策**や**教育のデジタル・リモート化**を進めると共に、**持続可能な開発のための教育 (ESD)**を推進し、次世代へのSDGs浸透を図る。
- ▶ **京都ユングレス**や**東京オリンピック・パラリンピック**等の機会を活用して法の支配やスポーツSDGsを推進し、日本の取組を世界に共有。